



FOUNDERシリーズ Elect -フリーアドレスデスク-

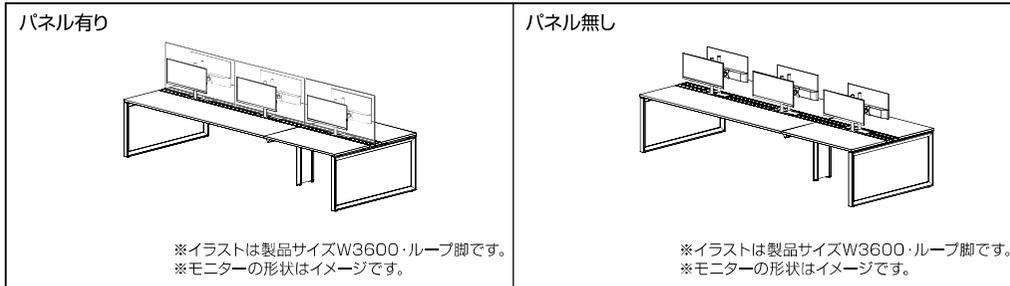
共通取扱説明書

このたびはアイリストセ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

■必要工具
⊕ドライバー (サイズ: 2番)
※ドライバーは、握り部分が直径3cm以上のものをご使用ください。

必ず3人以上で組み立ててください。
⚠注意 インパクトドライバーは使用しないでください。
破損するおそれがあります。

■仕様 別紙「■パーツリスト」も併せてご覧ください。



品番		製品サイズ(mm)	品番		製品サイズ(mm)
ループ脚	パネル脚		ループ脚	パネル脚	
NFAR-CFMAP(Q)-1014	NFAP-CFMAP(Q)-1014	W1000×D1400×H1420	NFAR-CFMA(Q)-1014	NFAP-CFMA(Q)-1014	W1000×D1400×H720
NFAR-CFMAP(Q)-1214	NFAP-CFMAP(Q)-1214	W1200×D1400×H1420	NFAR-CFMA(Q)-1214	NFAP-CFMA(Q)-1214	W1200×D1400×H720
NFAR-CFMAP(Q)-2014	NFAP-CFMAP(Q)-2014	W2000×D1400×H1420	NFAR-CFMA(Q)-2014	NFAP-CFMA(Q)-2014	W2000×D1400×H720
NFAR-CFMAP(Q)-2414	NFAP-CFMAP(Q)-2414	W2400×D1400×H1420	NFAR-CFMA(Q)-2414	NFAP-CFMA(Q)-2414	W2400×D1400×H720
NFAR-CFMAP(Q)-3014	NFAP-CFMAP(Q)-3014	W3000×D1400×H1420	NFAR-CFMA(Q)-3014	NFAP-CFMA(Q)-3014	W3000×D1400×H720
NFAR-CFMAP(Q)-3614	NFAP-CFMAP(Q)-3614	W3600×D1400×H1420	NFAR-CFMA(Q)-3614	NFAP-CFMA(Q)-3614	W3600×D1400×H720
NFAR-CFMAP(Q)-4014	NFAP-CFMAP(Q)-4014	W4000×D1400×H1420	NFAR-CFMA(Q)-4014	NFAP-CFMA(Q)-4014	W4000×D1400×H720
NFAR-CFMAP(Q)-4814	NFAP-CFMAP(Q)-4814	W4800×D1400×H1420	NFAR-CFMA(Q)-4814	NFAP-CFMA(Q)-4814	W4800×D1400×H720

※途中にQがつくものは、ワイヤレス充電器有りの品番です。

主要材質 天板表面材: メラミン樹脂化粧板 天板芯材: MDF、パーティクルボード 脚: スチール (合成樹脂焼付塗装)、アジャスター付 配線受け: スチール (合成樹脂焼付塗装) アルミカバー: アルミ押出 グロメット: 合成樹脂 コンセント: 3口コンセント (パネル有りの場合) パネル: アクリル	モニターアームベース: スチール (合成樹脂塗装) モニターアーム: スチール (合成樹脂塗装)、 アルミ成型品 (合成樹脂塗装)、 合成樹脂
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

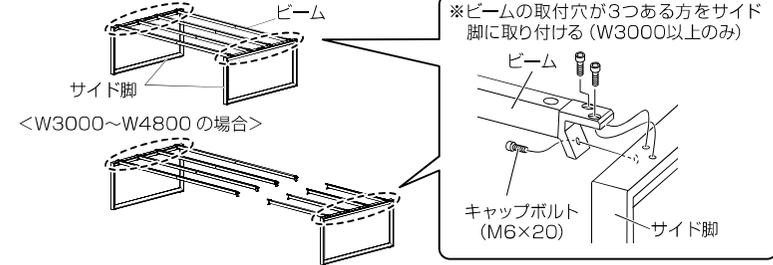
組み立てかた

※イラストは製品サイズW3600・ループ脚の場合。

1 サイド脚とビームを連結する

・サイド脚とビームをキャップボルト (M6×20) で**仮締め**した後、**本締め**する。

<W1000~W2400の場合>

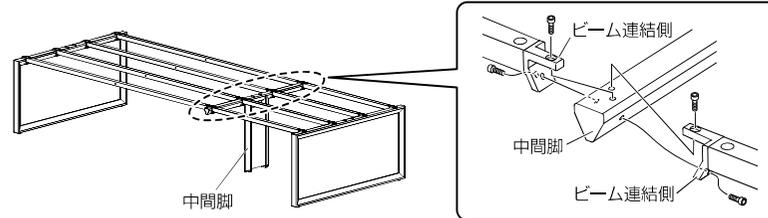


ボルトの 取り付け箇所
W1000: 24か所
W1200: 24か所
W2000: 24か所
W2400: 24か所
W3000: 24か所
W3600: 24か所
W4000: 24か所
W4800: 24か所

⚠注意
・最初に手でねじが入ることを確認してください。その後、工具で仮締めしてください。
・脚とビームは垂直に組み立ててください。垂直になっていない状態で無理にねじ締めを行うと、ナット部が空回りする原因になります。

2 W3000以上のみ 中間脚とビームを仮締めする

・中間脚とビームをキャップボルト (M6×20) で**仮締め**した後、**本締め**する。



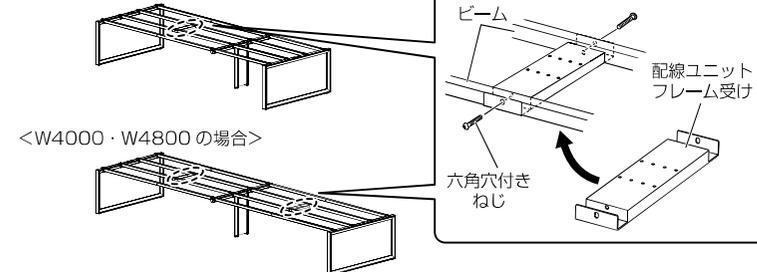
ボルトの 取り付け箇所
W1000: -
W1200: -
W2000: -
W2400: -
W3000: 16か所
W3600: 16か所
W4000: 16か所
W4800: 16か所

⚠注意
・最初に手でねじが入ることを確認してください。その後、工具で仮締めしてください。
・脚とビームは垂直に組み立ててください。垂直になっていない状態で無理にねじ締めを行うと、ナット部が空回りする原因になります。

3 W2000以上のみ 配線ユニットフレーム受けをビームに取り付ける

・配線ユニットフレーム受けをビームの**下側**から挟み込み、同梱の六角穴付きねじで取り付ける。

<W2000~W3600の場合>

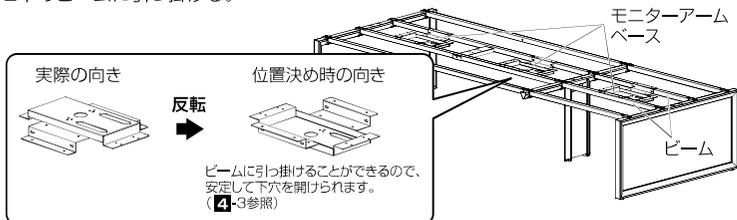


配線ユニット フレーム受けの 取り付け箇所
W1000: -
W1200: -
W2000: 1か所
W2400: 1か所
W3000: 1か所
W3600: 1か所
W4000: 2か所
W4800: 2か所

⚠注意
・フレーム全体がまっすぐになっていないとねじの穴位置が合わない場合があります。穴位置が合わない場合は、脚とビームが垂直になるよう調整してください。

4 モニターアームベースの位置決めをする

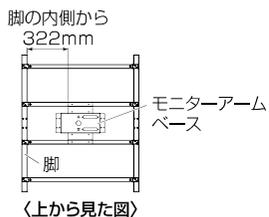
- 1.位置決めがしやすいよう、モニターアームベースを図のように反転し、2本のビームに引っ掛ける。



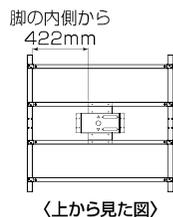
モニターアームベースの取り付け箇所
W1000: 1か所
W1200: 1か所
W2000: 2か所
W2400: 2か所
W3000: 3か所
W3600: 3か所
W4000: 4か所
W4800: 4か所

- 2.モニターアームベースと脚の位置を調整する。 ※天板のサイズによって位置調整の方法が異なります。

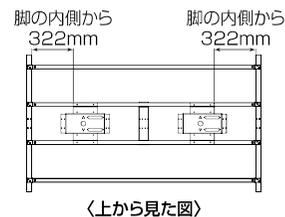
〈W1000の場合〉



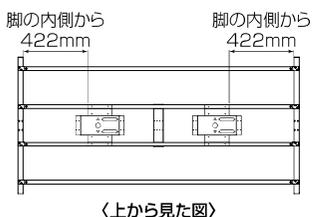
〈W1200の場合〉



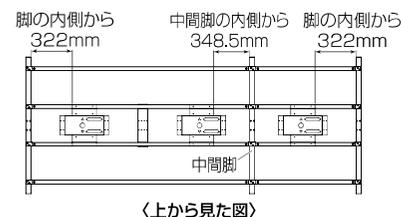
〈W2000の場合〉



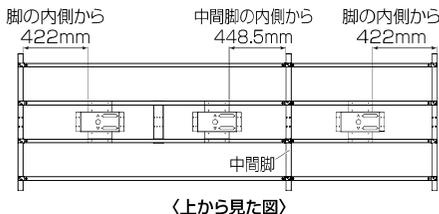
〈W2400の場合〉



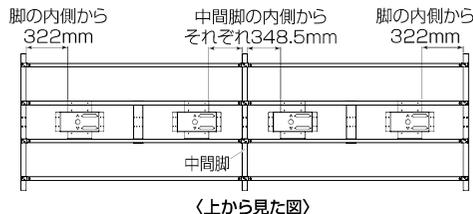
〈W3000の場合〉



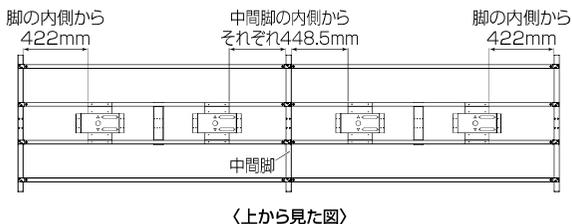
〈W3600の場合〉



〈W4000の場合〉

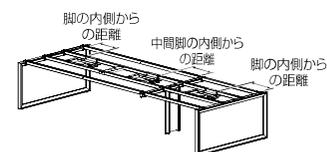


〈W4800の場合〉



⚠注意

各脚の寸法を正しくとらないと、以降の組み立てができなくなります。



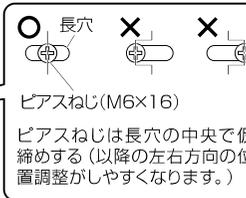
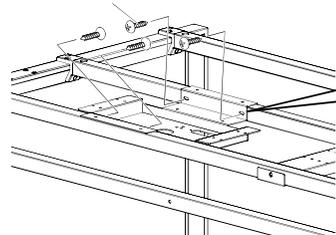
4 つづき

- 3.モニターアームベースの長穴にピասねじ (M6×16) で下穴を開け、仮締めする。

⚠注意

ピասねじはねじを切りながら固定するので、切粉が出ます。目に入らないよう注意してください。

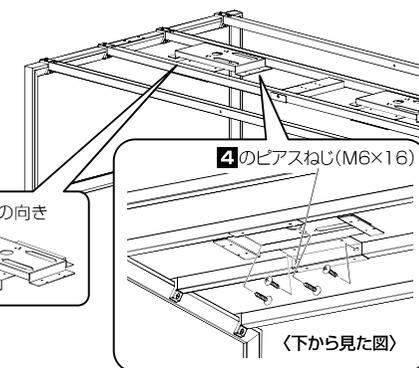
ピասねじ (M6×16)



ピラスねじの取り付け箇所
W1000: 4か所
W1200: 4か所
W2000: 8か所
W2400: 8か所
W3000: 12か所
W3600: 12か所
W4000: 16か所
W4800: 16か所

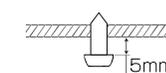
5 モニターアームベースを仮止める

1. **4**で仮締めしたピラスねじ (M6×16) を外す。
- 2.モニターアームベースを再度反転し、ビームの下から長穴とねじ穴を合わせ、外したピラスねじ (M6×16) を再度仮締めする。(余ったねじは**8**で使用します。)



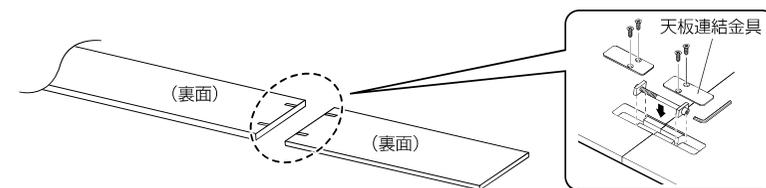
⚠注意

ピラスねじ (M6×16) は5mmほどすき間を開けて仮締めしてください。以降アルミカバーとの位置決めができなくなります。(アルミカバーとの位置決めは**8**で行います。)



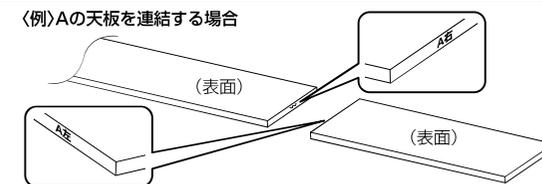
6 W3000以上のみ 天板を連結する

- ・天板連結金具を用いて下図のように天板を連結する。
- ※詳細は、天板連結セットに同梱されている取扱説明書を参照し、天板を連結してください。



連結箇所
W1000: -
W1200: -
W2000: -
W2400: -
W3000: 2か所
W3600: 2か所
W4000: 2か所
W4800: 2か所

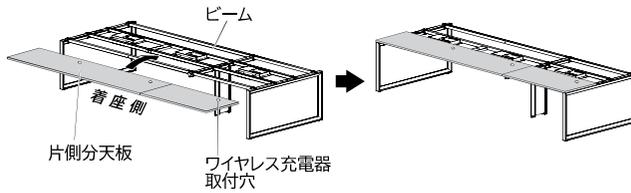
- ・天板は、ケースおよび天板連結側面に「A左」「A右」「B左」「B右」と記載されています。
- ・同じアルファベットの天板で記載面同士を合わせて連結してください。木目柄が合いやすくなります。(仕様上、完全に木目は合いません。)



7 アルミカバーを天板の端に取り付ける

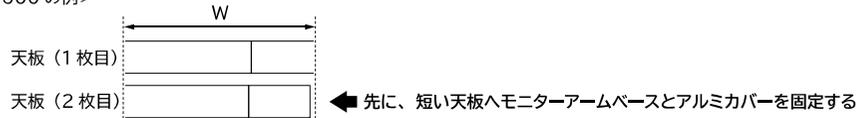
※この工程では、ビームの上を作業台として使います。(天板とビームの固定は 4 で行います。)

1. 取り付け作業がしやすいよう、図のように片側分天板をビームの受けに仮置きする。
2. ワイヤレス充電器付仕様の場合、ワイヤレス充電器取付穴が着座側から右側奥に来るように仮置きする。



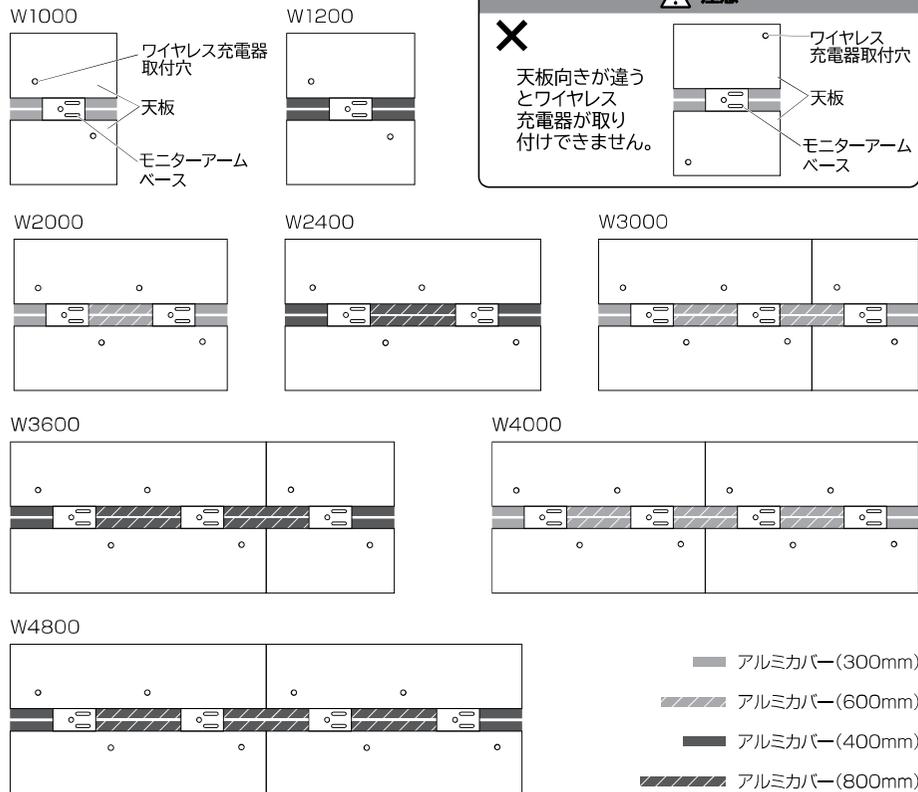
※天板加工の性質上、2枚の天板それぞれの長さはずか異なる場合があります。仕上がりが良く見えるよう、2枚の天板の長さ(W)を比較し、先に短い天板へモニターアームとアルミカバーを固定してください。

<W3600の例>



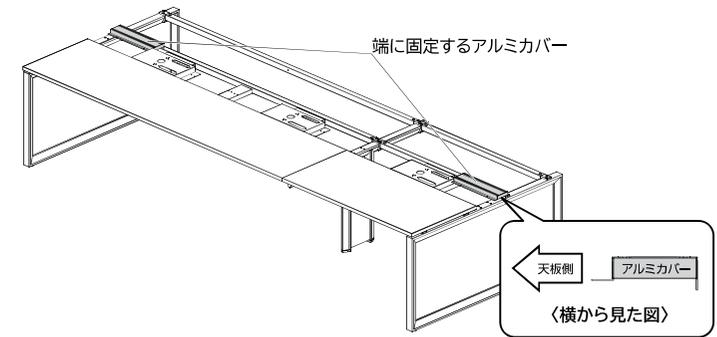
3. 取り付けるアルミカバーの種類や位置を確認する。 ※天板のサイズによって種類や位置が異なります。

サイズ一覧

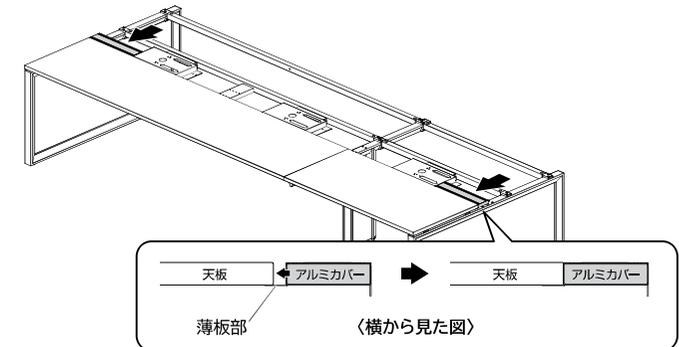


7 つづき

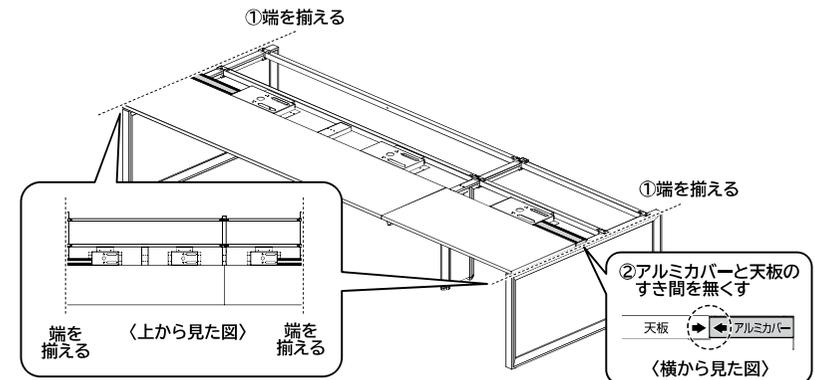
3. 先に、端に固定するアルミカバーを奥側に仮置きする。



4. アルミカバーを天板側にスライドし、天板が薄板部に載るよう差し込む。



5. アルミカバーと天板の位置を調整する。



7 つづき

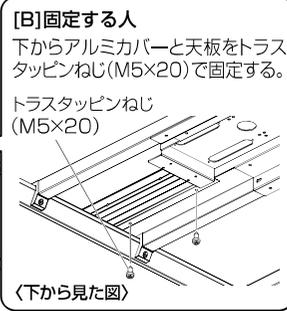
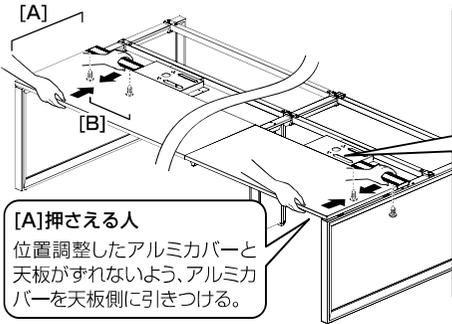
6.図のようにアルミカバーと天板を2人以上 ([A][B]) で固定する。



- 注意**
- この工程は必ず2人以上で行ってください。1人で行うと、位置ずれの原因になります。
 - 天板をビームに固定しないでください。以降正しく組み立てができなくなります。(ビームへの固定は8で行います。)

トラスタッピン 取り付け箇所

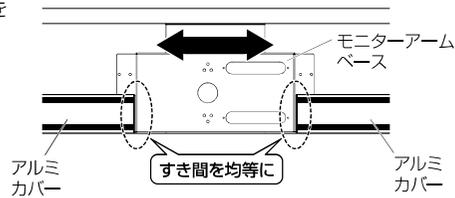
W1000: 4か所
W1200: 4か所
W2000: 4か所
W2400: 4か所
W3000: 4か所
W3600: 4か所
W4000: 4か所
W4800: 4か所



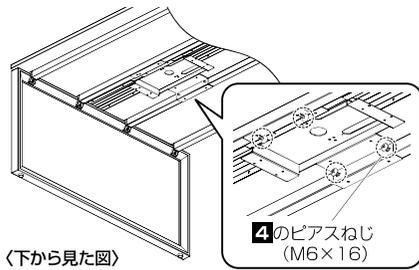
回 は製品サイズによって組み立てかたが異なります。
製品サイズ・品番を確認し、該当する組み立てかたをご覧ください。

8-A W1000・W1200の場合 モニターアームベースを固定する

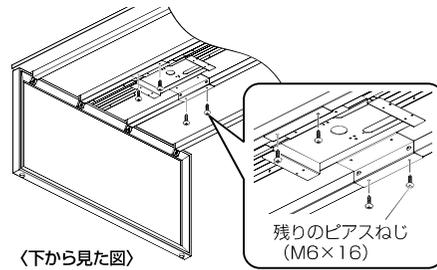
1.仕上がり良く見えるよう、モニターアームベースをアルミカバーとのすき間が均等になるように位置調整する。



2.仮締めしていた4のピասねじ(M6×16)を本締めする。

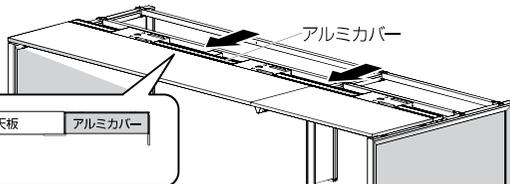


3.残りのピասねじ(M6×16)で、ビームの下側から本締めする。



8-B W2000以上のみ モニターアームベースとアルミカバーを位置調整し、固定する

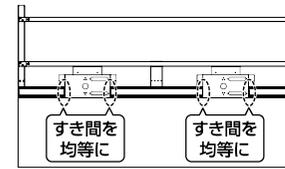
1.残りのアルミカバーを7と同じように、天板が薄板部に乗るよう差し込む。



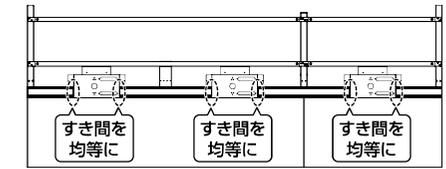
8-B つづき

2.仕上がり良く見えるよう、モニターアームベースをアルミカバーとのすき間が均等になるように位置調整する。

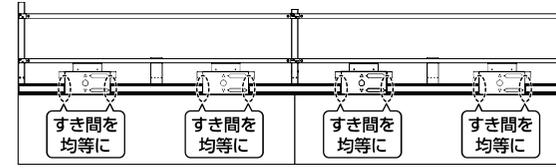
〈W2000・W2400の場合〉



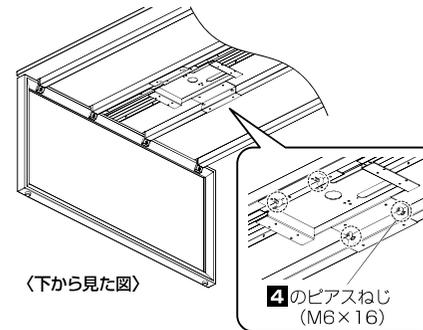
〈W3000・W3600の場合〉



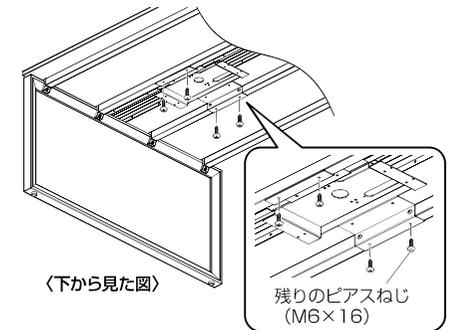
〈W4000・W4800の場合〉



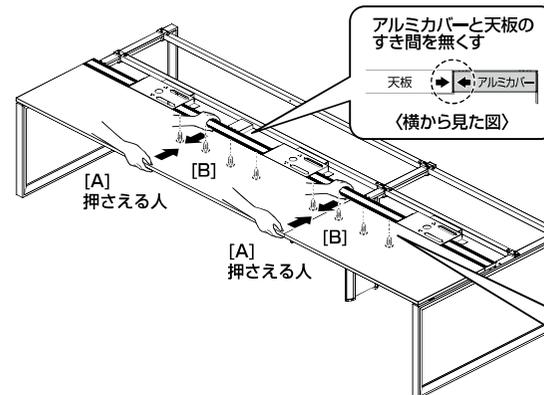
3.仮締めしていた4のピասねじ(M6×16)を本締めする。



4.残りのピասねじ(M6×16)で、ビームの下側から本締めする。

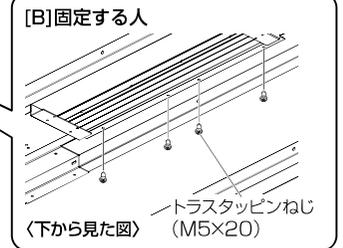


5.7と同じようにアルミカバーと天板を2人以上 ([A][B]) で固定する。



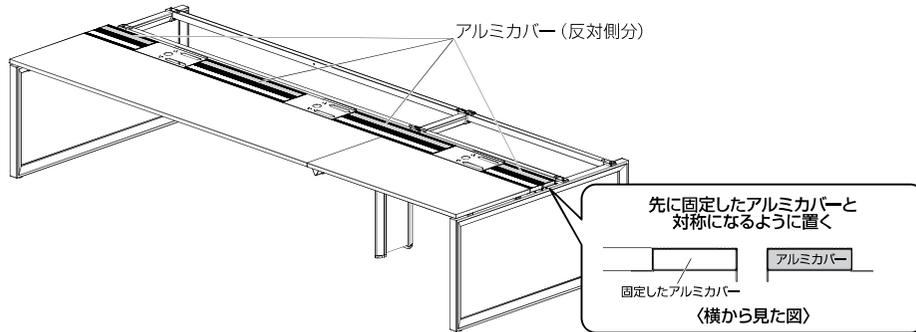
トラスタッピンの 取り付け箇所

W1000: -
W1200: -
W2000: 3か所
W2400: 4か所
W3000: 6か所
W3600: 8か所
W4000: 9か所
W4800: 12か所

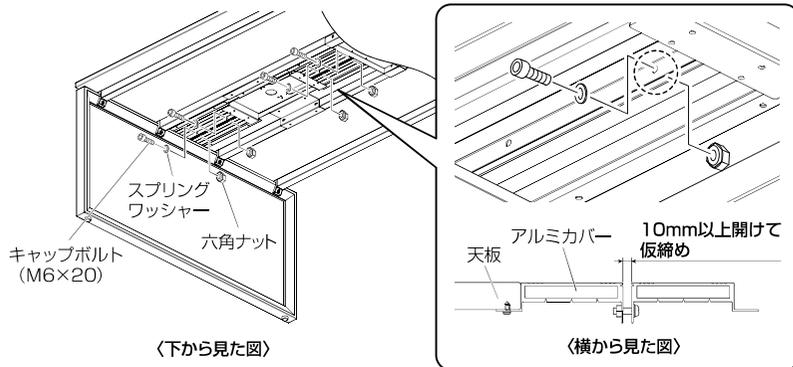


9 向かい合うアルミカバーを仮止める

1. 反対側分のアルミカバー全てを、先に固定したアルミカバーと対称になるように置く。



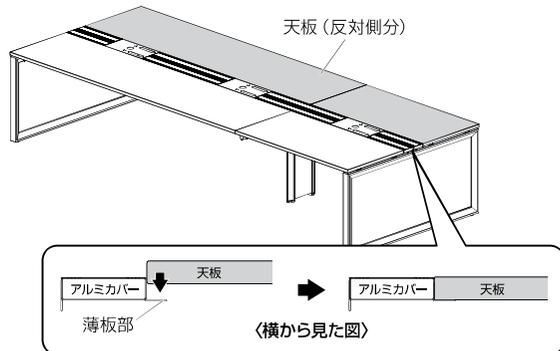
2. アルミカバーの連結穴に六角ナット・スプリングワッシャー・キャップボルト (M6×20) で仮締めする。(本締めは10で行います。)



ボルトの取り付け箇所	
W1000	: 4か所
W1200	: 4か所
W2000	: 8か所
W2400	: 8か所
W3000	: 12か所
W3600	: 12か所
W4000	: 16か所
W4800	: 16か所

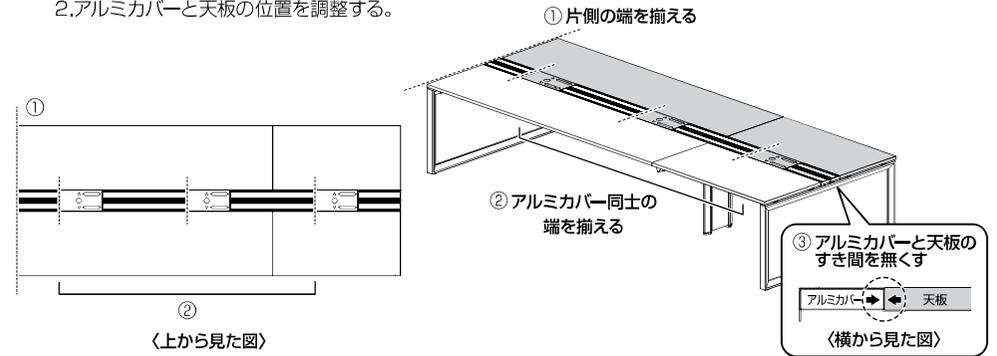
10 反対側の天板をアルミカバーに固定する

1. 反対側分の天板をアルミカバーの薄板部に重ねるように置く。

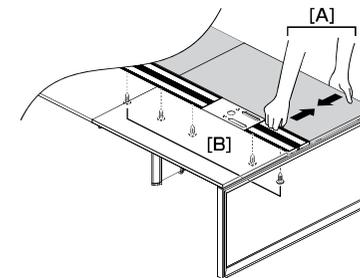


10 つづき

2. アルミカバーと天板の位置を調整する。



3. 位置調整したアルミカバーと天板がずれないように固定する。



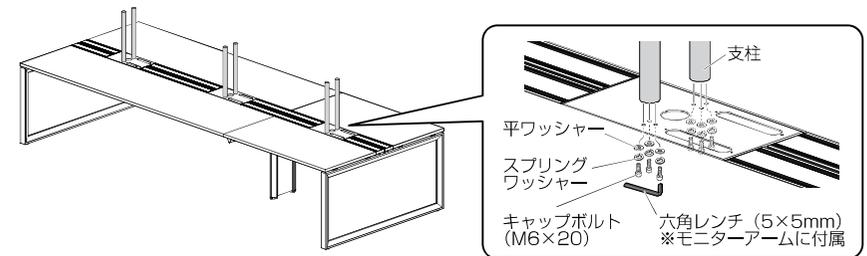
注意

アルミカバー同士のすき間に指を挟まないよう注意してください。

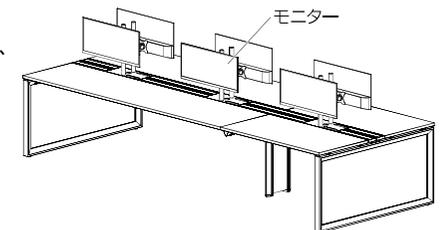
トラスタッピン の取り付け箇所	
W1000	: 4か所
W1200	: 4か所
W2000	: 7か所
W2400	: 8か所
W3000	: 10か所
W3600	: 12か所
W4000	: 13か所
W4800	: 16か所

11 モニターを取り付ける

1. モニターアームの支柱とモニターアームベースを平ワッシャー・スプリングワッシャー・キャップボルト (M6×20) で固定する。



2. モニターをモニターアームに取り付ける。
※詳細は、モニターアームに同梱されている取扱説明書の「組み立てかた②～⑤」を参照し、各パーツの組み立てや、モニターの取り付けをしてください。

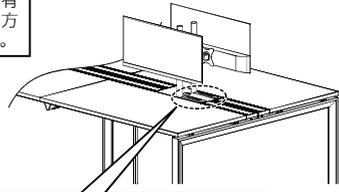


12 コンセントタップ・グロメットを取り付ける

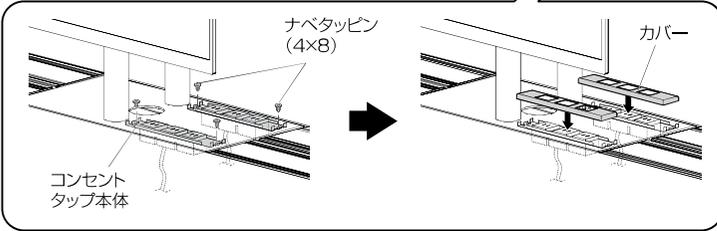
1. コンセントタップの本体をモニターアームベースに差し込み、ナベタッピン (4×8) で固定する。
2. カバーを上からはめ込む。

**電気工事
必要**

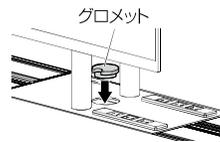
コンセントの取り付けは、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。



コンセントタップの 取り付け箇所	
W1000	: 2か所
W1200	: 2か所
W2000	: 4か所
W2400	: 4か所
W3000	: 6か所
W3600	: 6か所
W4000	: 8か所
W4800	: 8か所



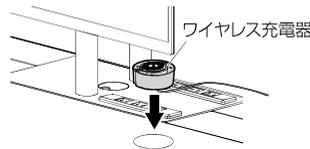
3. グロメットを差し込む。
(必要に応じて、別途用意したケーブルなどをグロメットの穴に通してください。)



グロメットの 取り付け箇所	
W1000	: 1か所
W1200	: 1か所
W2000	: 2か所
W2400	: 2か所
W3000	: 3か所
W3600	: 3か所
W4000	: 4か所
W4800	: 4か所

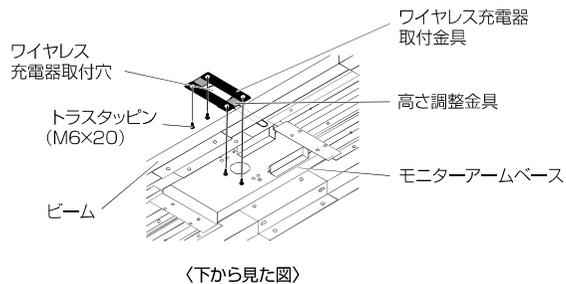
ワイヤレス充電器有りの場合 ワイヤレス充電器を取り付ける

1. 天板にある穴にワイヤレス充電器を入れる。

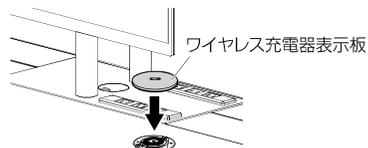


ワイヤレス充電器の 取り付け箇所	
W1000	: 2か所
W1200	: 2か所
W2000	: 4か所
W2400	: 4か所
W3000	: 6か所
W3600	: 6か所
W4000	: 8か所
W4800	: 8か所

2. 天板裏からワイヤレス充電器固定金具をトラスタッピン (M6×20) で取りつける。



3. 天板にある穴にワイヤレス充電器表示板を入れる。
穴淵にボンドをつけ、充電器表示板を取り付ける。

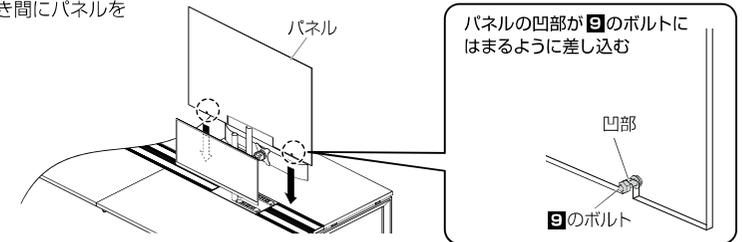


13はパネルの有無によって組み立てかたが異なります。
タイプ・品番を確認し、該当する組み立てかたをご覧ください。

13-A

パネル有り (品番: ~-CFMAP(Q)-~) の場合 パネルを取り付ける

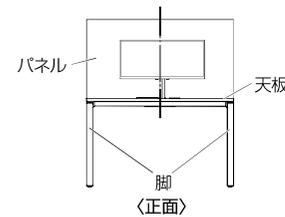
1. アルミカバー同士のすき間にパネルを差し込む。



2. パネルの位置を調整し、9のボルトを本締めする。 ※天板のサイズによって位置調整の方法が異なります。

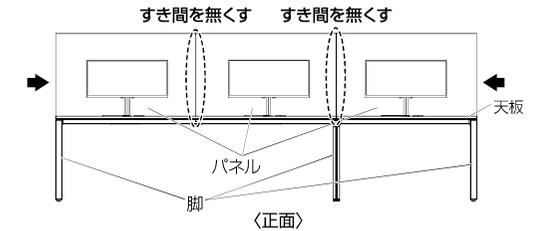
<W1000・W1200の場合>

パネル・天板・脚の中心を揃えたあと、パネルを本締めする。



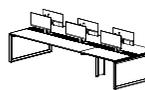
<W2000以上の場合>

左右からパネルを押し、パネル同士にすき間が無いようにしたあと本締めする。

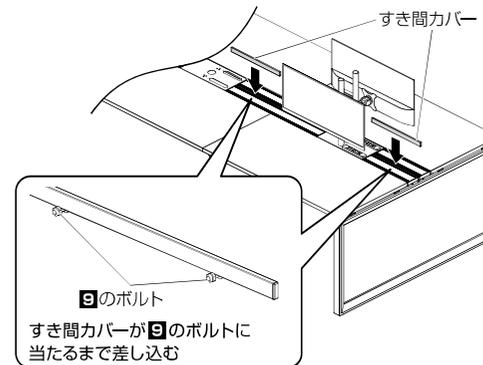


13-B

パネル無し (品番: ~-CFMA(Q)-~) の場合 すき間カバーを取り付ける

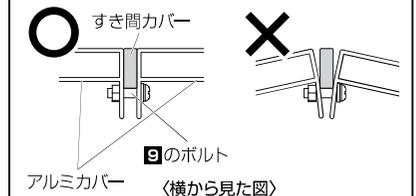


・アルミカバー同士のすき間にパネルを差し込み、9のボルトを軽く締める。



⚠ 注意

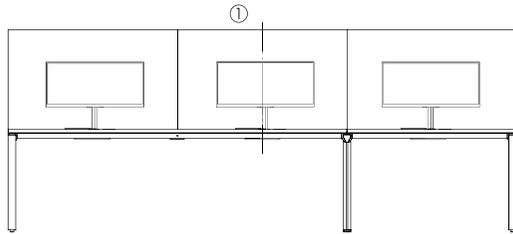
・ボルトは必ず軽く締めてください。強く締めると、アルミカバーが変形する原因になります。



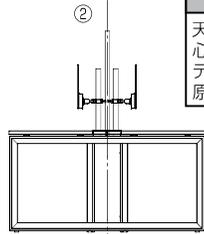
14 天板をビームに固定する

1.天板とビームの位置を調整する。

- ①正面の中心を揃える。
- ②側面の中心を揃える。
(天板はビームより少しはみ出るため、両端の調整は不要です。)



〈正面〉



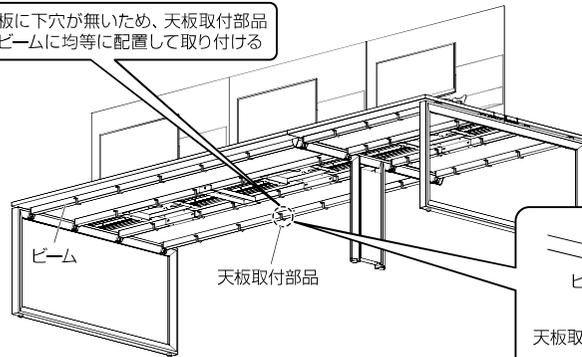
〈側面〉

⚠ 注意

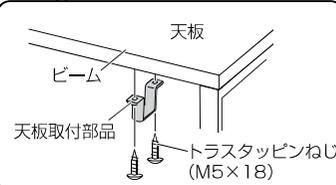
天板固定前に必ず中心を揃えてください。デスクの重心が偏る原因になります。

2.天板取付部品をビームに均等にはめ込み、トラスタッピンねじ (M5×18) で取り付ける。

天板に下穴が無いため、天板取付部品はビームに均等に配置して取り付ける



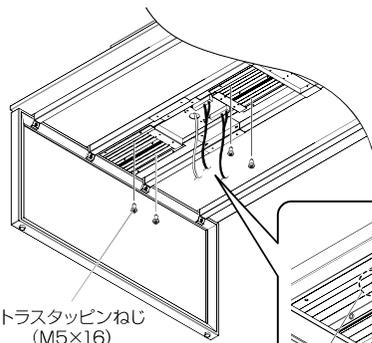
〈下から見た図〉



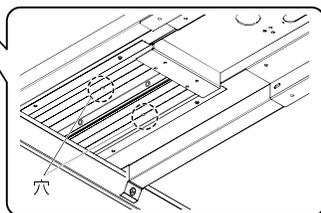
天板取付部品の取り付け箇所	
W1000	: 16か所
W1200	: 16か所
W2000	: 16か所
W2400	: 16か所
W3000	: 32か所
W3600	: 32か所
W4000	: 32か所
W4800	: 32か所

15 配線受けを取り付ける

1.トラスタッピンねじ (M5×16) をアルミカバーの裏にある穴に**仮締め**する。



〈下から見た図〉



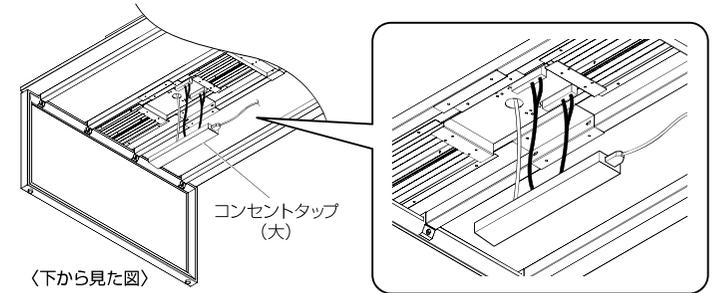
配線受けの取り付け箇所	ピասねじの取り付け箇所		
W1000	: 1か所	W1000	: 4か所
W1200	: 1か所	W1200	: 4か所
W2000	: 2か所	W2000	: 8か所
W2400	: 2か所	W2400	: 8か所
W3000	: 3か所	W3000	: 12か所
W3600	: 3か所	W3600	: 12か所
W4000	: 4か所	W4000	: 16か所
W4800	: 4か所	W4800	: 16か所

⚠ 注意

トラスタッピンねじ(M5×16)は5mmほどすき間を開けて仮締めしてください。配線受けの取り付けができなくなります。

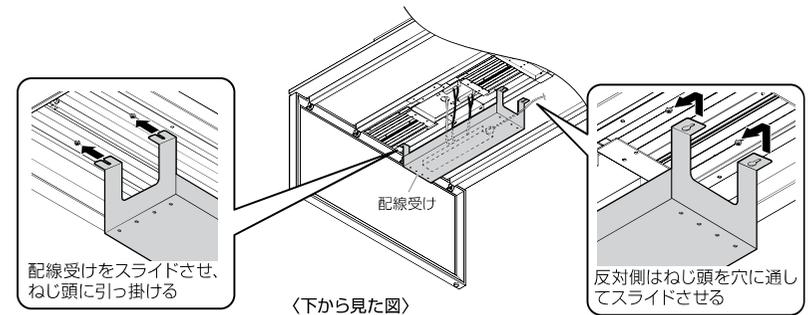
15 つづき

2.コンセントのコードをコンセントタップ (大) に押し込む。
※コンセントタップ (大) はオプション品または別途用意したものをお使いください。



〈下から見た図〉

3.コンセントタップ (大) やケーブル類を配線受けに入れる。
4.配線受け両側の穴を仮締めしたトラスタッピンねじに引っ掛けたあと、**本締め**して固定する。



〈下から見た図〉

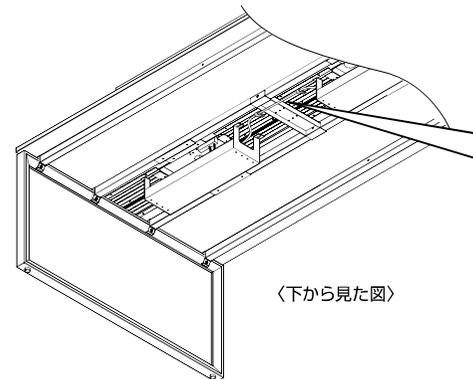
たわんだコードを固定する場合

・コードをクリップの輪に通し、ピասねじ (M4×16) で固定する。

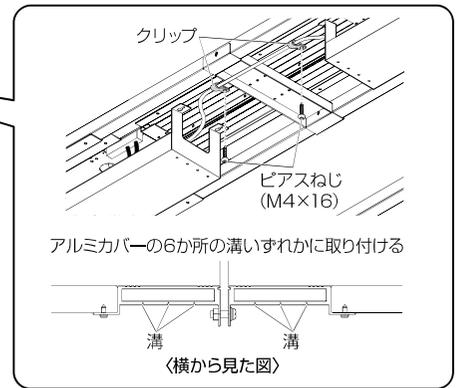
⚠ 注意

ピասねじはねじを切りながら固定するので、切粉が出ます。目に入らないよう注意してください。

固定の一例



〈下から見た図〉



〈横から見た図〉

パーツリスト 製品サイズによってパーツの数・形状が異なります。

W1000・W1200		
パネル有り	パネル無し	
		
天板×2	六角ナット ^{*6} ×4	ピասねじ (6×16) ^{*9} ×8
サイド脚 ^{*1} ×2	キャップボルト (M6×20) ^{*6} ×4	キャップボルト (M6×20) ^{*9} ×6
中間脚はありません	すき間カバー ^{*10} ×1 ※パネル有りの仕様では使用しない	スプリングワッシャー ^{*9} ×6
ビーム×4	平ワッシャー ^{*9} ×6	ナベタッピン (4×8) ^{*9} ×4
キャップボルト (M6×20) ^{*6} ×24	パネル×1 ※パネル無しの仕様では使用しない	サラタッピン (3×8) ^{*9} ×8
配線ユニットフレーム受けはありません	天板連結セットはありません	モニターアームセット ^{*7+10} ×2
六角穴付きねじはありません	クリップ×2	天板取付部品×16
天板取付部品×16	配線受け×1	コンセントタップ×2
トラスタッピンねじ (M5×18) ^{*5} ×32	トラスタッピンねじ (M5×16) ^{*9} ×4	ワイヤレス充電器 ^{*11} ×2
アルミカバー W1000: 300mm×4 W1200: 400mm×4	ピアスねじ (M4×16) ^{*6} ×2	＜固定金具セット> ^{*8+11}
六角レンチ ^{*6} ×1	ワイヤレス充電器取付金具 ^{*2}	高さ調整金具×2
トラスタッピンねじ (M5×20) ^{*6} ×8	モニターアームベース×1	トラスタッピンねじ (M6×20) ^{*9} ×4
スプリングワッシャー ^{*6} ×4	グロメット ^{*9} ×1	ポンド×1

W2000・W2400		
パネル有り	パネル無し	
		
天板×2	六角ナット ^{*6} ×8	ピասねじ (6×16) ^{*9} ×16
サイド脚 ^{*1} ×2	キャップボルト (M6×20) ^{*6} ×8	キャップボルト (M6×20) ^{*9} ×12
中間脚はありません	すき間カバー ^{*10} ×1 ※パネル有りの仕様では使用しない	スプリングワッシャー ^{*9} ×12
ビーム×4	平ワッシャー ^{*9} ×12	ナベタッピン (4×8) ^{*9} ×8
キャップボルト (M6×20) ^{*6} ×24	パネル×2 ※パネル無しの仕様では使用しない	サラタッピン (3×8) ^{*9} ×16
配線ユニットフレーム受け×1	天板連結セットはありません	モニターアームセット ^{*7+10} ×4
六角穴付きねじ ^{*4} ×2	クリップ×4	天板取付部品×16
天板取付部品×16	配線受け×2	コンセントタップ×4
トラスタッピンねじ (M5×18) ^{*5} ×32	トラスタッピンねじ (M5×16) ^{*9} ×8	ワイヤレス充電器 ^{*11} ×4
アルミカバー W2000: 300mm×4 600mm×2 W2400: 400mm×4 800mm×2	ピアスねじ (M4×16) ^{*6} ×4	＜固定金具セット> ^{*8+11}
六角レンチ ^{*6} ×1	ワイヤレス充電器取付金具 ^{*2}	高さ調整金具×2
トラスタッピンねじ (M5×20) ^{*6} ×8	モニターアームベース×2	トラスタッピンねじ (M6×20) ^{*9} ×4
スプリングワッシャー ^{*6} ×8	グロメット ^{*9} ×2	ポンド×1

W3000・W3600		
パネル有り	パネル無し	
		
天板 (長・短)×各2	六角ナット ^{*6} ×12	ピասねじ (6×16) ^{*9} ×24
サイド脚 ^{*1} ×2	キャップボルト (M6×20) ^{*6} ×12	キャップボルト (M6×20) ^{*9} ×18
中間脚 ^{*2} ×1	すき間カバー (長・短) ^{*10} ×各1 ※パネル有りの仕様では使用しない	スプリングワッシャー ^{*9} ×18
ビーム (長・短)×各4	平ワッシャー ^{*9} ×18	ナベタッピン (4×8) ^{*9} ×12
キャップボルト (M6×20) ^{*6} ×40	パネル×3 ※パネル無しの仕様では使用しない	サラタッピン (3×8) ^{*9} ×24
配線ユニットフレーム受け×1	天板連結セット ^{*7} ×1	モニターアームセット ^{*7+10} ×6
六角穴付きねじ ^{*4} ×2	クリップ×6	天板取付部品×32
天板取付部品×32	配線受け×3	コンセントタップ×6
トラスタッピンねじ (M5×18) ^{*5} ×64	トラスタッピンねじ (M5×16) ^{*9} ×12	ワイヤレス充電器 ^{*11} ×6
アルミカバー W3000: 300mm×4 600mm×4 W3600: 400mm×4 800mm×4	ピアスねじ (M4×16) ^{*6} ×6	＜固定金具セット> ^{*8+11}
六角レンチ ^{*6} ×1	ワイヤレス充電器取付金具 ^{*2}	高さ調整金具×2
トラスタッピンねじ (M5×20) ^{*6} ×8	モニターアームベース×3	トラスタッピンねじ (M6×20) ^{*9} ×4
スプリングワッシャー ^{*6} ×12	グロメット ^{*9} ×3	ポンド×1

W4000・W4800		
パネル有り	パネル無し	
		
天板×4	六角ナット ^{*6} ×16	ピասねじ (6×16) ^{*9} ×32
サイド脚 ^{*1} ×2	キャップボルト (M6×20) ^{*6} ×16	キャップボルト (M6×20) ^{*9} ×24
中間脚 ^{*2} ×1	すき間カバー ^{*10} ×2 ※パネル有りの仕様では使用しない	スプリングワッシャー ^{*9} ×24
ビーム×8	平ワッシャー ^{*9} ×24	ナベタッピン (4×8) ^{*9} ×16
キャップボルト (M6×20) ^{*6} ×40	パネル×4 ※パネル無しの仕様では使用しない	サラタッピン (3×8) ^{*9} ×32
配線ユニットフレーム受け×2	天板連結セット ^{*7} ×1	モニターアームセット ^{*7+10} ×8
六角穴付きねじ ^{*4} ×4	クリップ×8	天板取付部品×32
天板取付部品×32	配線受け×4	コンセントタップ×8
トラスタッピンねじ (M5×18) ^{*5} ×64	トラスタッピンねじ (M5×16) ^{*9} ×16	ワイヤレス充電器 ^{*11} ×8
アルミカバー W4000: 300mm×4 600mm×6 W4800: 400mm×4 800mm×6	ピアスねじ (M4×16) ^{*6} ×8	＜固定金具セット> ^{*8+11}
六角レンチ ^{*6} ×1	ワイヤレス充電器取付金具 ^{*2}	高さ調整金具×2
トラスタッピンねじ (M5×20) ^{*6} ×8	モニターアームベース×4	トラスタッピンねじ (M6×20) ^{*9} ×4
スプリングワッシャー ^{*6} ×16	グロメット ^{*9} ×4	ポンド×1

※1 ループ脚/パネル脚いずれかの、注文いただいたものが入っています。(イラストはループ脚です)
 ※2 中間脚に同梱されている配線受け取付アダプターは使用しません。

※3 ビームに同梱されています。
 ※4 配線ユニットフレーム受けに同梱されています。
 ※5 天板取付部品に同梱されています。
 ※6 アルミカバーに同梱されています。
 ※7 専用の取扱説明書が同梱されています。併せてご覧ください。
 ※8 配線受けに同梱されています。

※9 モニターアームベースに同梱されています。
 ※10 モニターアームセットに同梱されているクランプベース・クランプノブ・滑り止めゴム・六角穴付き丸頭ねじは使用しません。



■ 安全上の注意

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	
すべりやすい床面で使用しないでください。	転倒してけがをするおそれがあります。
不安定な状態で積み重ねないでください。	荷崩れによりけがをするおそれがあります。
台車での運搬時に積みすぎないでください。	

 注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。	
指定以外の用途に使用しないでください。	けがなどの原因になります。
ボルトやねじがゆるんでいるときは使用しないでください。	本体が破損してけがをすることがあります。
異常があるときは使用しないでください。	
火のそばに近づけないでください。	火災の原因になります。
分解したり改造したりしないでください。	破損やけがの原因になります。
水平で安定した場所で使用してください。	変形・破損・転倒してけがの原因になります。
乱暴に取り扱わないでください。	
脚先にごみが付着しないよう定期的にお手入れしてください。	脚先のごみで床を傷つけたり汚したりする原因になります。

■ 使用上の注意

直射日光やストーブの熱などが当たるところで使用しないでください。	変色や変形の原因になります。
製品を動かす際は、必ず2人以上で動かしてください。	思わぬ方向に動き、破損やけがの原因になります。

■ 使用場所についての注意

・この製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。また、濡れないようにしてください。破損・腐食の原因になります。

■ お手入れのしかた

- ・ほこりなどの汚れはブラシなどで軽くブラッシングしてください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないように固く絞った布などで拭き取ってください。
- ・シンナーやアルコール、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になります。

■ 廃棄時の注意

- ・廃棄するときは、専門業者にご依頼ください。焼却すると使用している樹脂から有毒ガスが発生することがあります。
- ・この製品が不要になった場合は、有料でお引き取りもいたします。

・この製品を譲渡する場合は、この [取扱説明書] も必ず一緒にお渡しください。
・不明な点がありましたら、お買い上げの販売店、当社営業担当者、または当社問い合わせ窓口（下記記載）までお問い合わせください。

■ サービス・保証について

1. JOIFA登録番号について

JOIFA 104

- ・この番号は、当社のJOIFA（一般社団法人日本オフィス家具協会）の登録番号です。
- ・JOIFAは、オフィス家具を安心・安全に使用していただけるよう、会員企業にJOIFA番号を制定しています。JOIFA番号を表示する会員企業は、保証、回収、修理などの対応が可能です。

2. 保証期間（購入日より）

※ 取扱説明書にしたがった正常な使用状態で故障及び破損した場合

外装・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・昇降機構などの故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年

MADE IN JAPAN



アイリスチトセ株式会社

本部：兵庫県三田市テクノパーク 5-14 〒669-1339
☎ 079-560-0821 FAX 079-560-0825
月曜日～金曜日（祝祭日・当社休業日を除く）9：30～17：00